

世界初の遠心分離不要の真空採血管「チューブ21®」発売について

当社メディカル事業部は、積水化学工業株式会社、および株式会社アイ・デザイン社と共同で特殊な血球ろ過フィルターにより遠心分離処理が不要なプラスチック製真空採血管（製品名：チューブ21® S）を開発し、8月より発売いたします。

遠心分離処理が不要な画期的な採血管であり、世界初の商品です。

「チューブ21®」は日東紡の商標

．背景

現在、多くの医療機関が、患者の通院負担を軽減させる目的で、1回の通院で検査結果を通知する「当日診断」に取り組んでいます。しかし血液検査においては、採取した血液を凝固させた後、遠心分離装置にかけて検査対象の血清を分離する必要があります。また、血清成分を分離するためには長い時間を要します。現在、採血してから検査を行うまでにかかる所要時間は、一般的な採血管を使用した場合で40分、高速凝固剤入りの採血管でも15分です。

この度発売する『チューブ21® S』は、血液凝固および遠心分離処理が不要で、かつ採血から血液検査開始までの所要時間が2分で済みます。これにより、医療現場のニーズである当日診断の促進に貢献し、患者の負担軽減を図ります。

メディカル事業部では2008年には6億円/年の売上を見込んでいます。



< 「チューブ21® S」製品写真 >

（問い合わせ先） 日東紡績メディカル事業部 小島 03-3238-4540